

# 家庭教育の現状と今後の 子育て支援の在り方

全日本家庭教育研究会（全家研）

ポピー

教育対話主事

村松 守夫



2025年（令和7年）2月28日 アルカディア市ヶ谷

# 家庭教育の現状と今後の子育て支援の在り方

- 1 家庭教育の認知度
- 2 家庭教育で大切にしていること
- 3 保護者が学校に望んでいること
- 4 子どもとの関わり 専門と共働き
- 5 子育てに関する情報の収集
- 6 ポピー教育相談の現状
- 7 これからの子育て支援

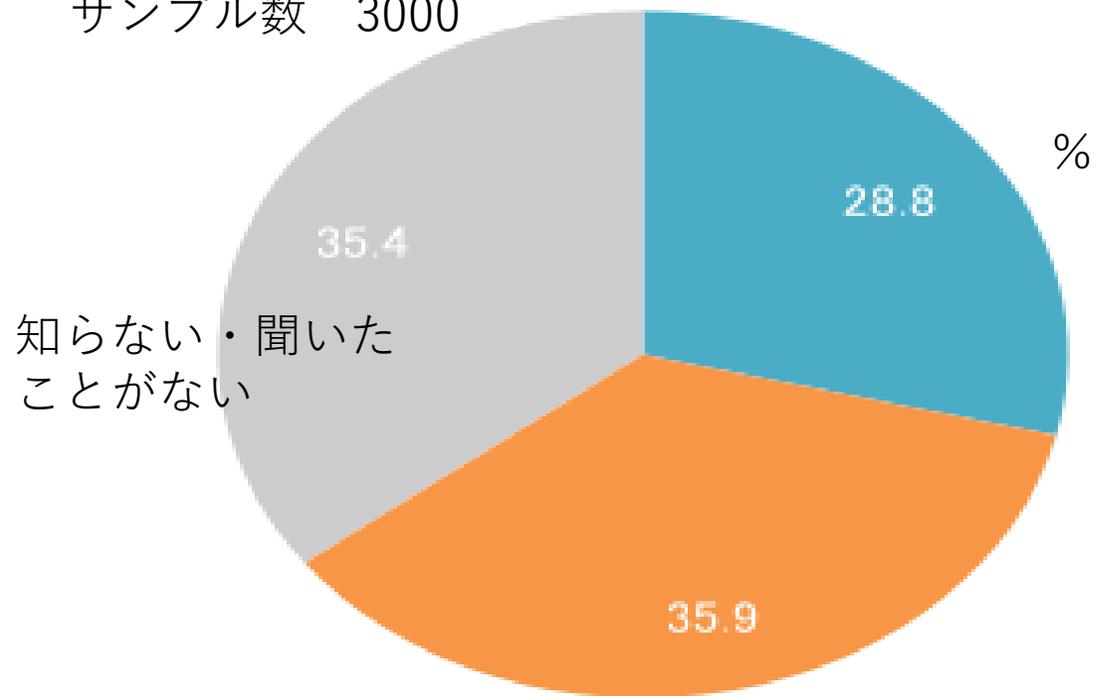


# I 家庭教育の認知度

あなたは「家庭教育」という言葉をご存知でしたか。(単一回答)

2024年度実施

サンプル数 3000



- 内容を含めて知っていた
- 内容は知らないが言葉は聞いたことがある
- 知らない/聞いたことがない

家庭教育の認知度が約65%

2006年(平成18年)  
改正教育基本法 第10条  
「家庭教育」の記述追加後  
も認知度が上がらず

文部科学省調査



# 1 家庭教育の認知度

2006年（平成18年）

改正教育基本法 第10条「家庭教育」

父母その他の保護者は、子の教育について**第一義的責任**を有するものであって、**生活のために必要な習慣**を身に付けさせるとともに、**自立心**を育成し、**心身の調和のとれた発達**を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する**学習の機会及び情報の提供**その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

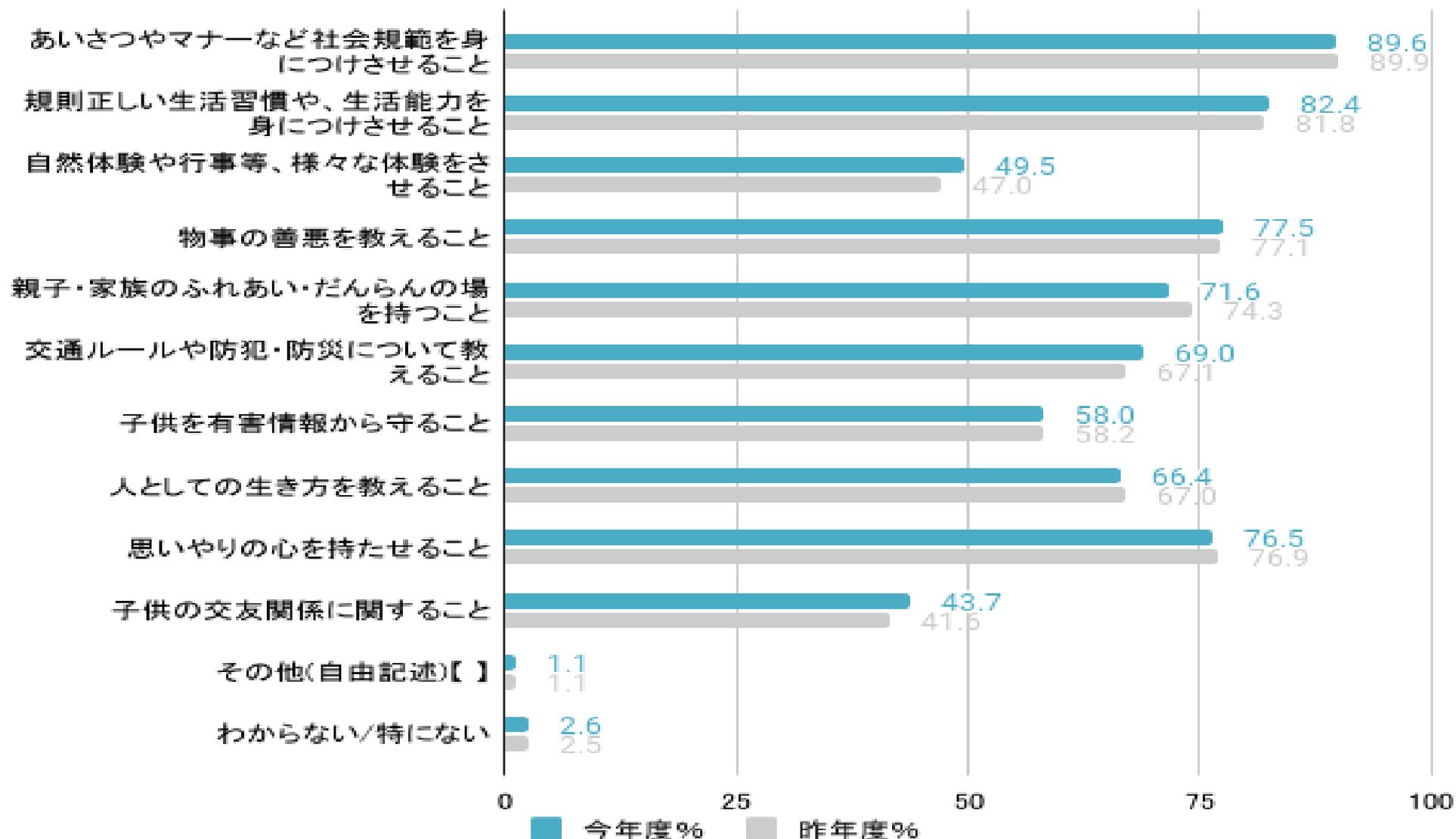


## 2 家庭教育で大切にしていること

2024年度実施  
サンプル数 1939

文部科学省調査

[単位%]

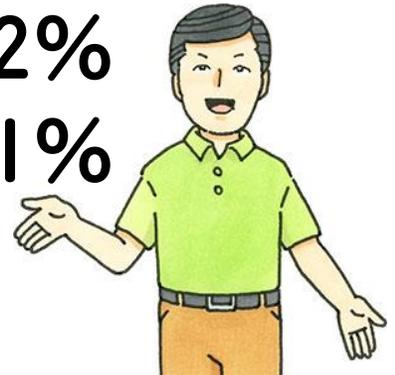


### 3 保護者が学校に望んでいること

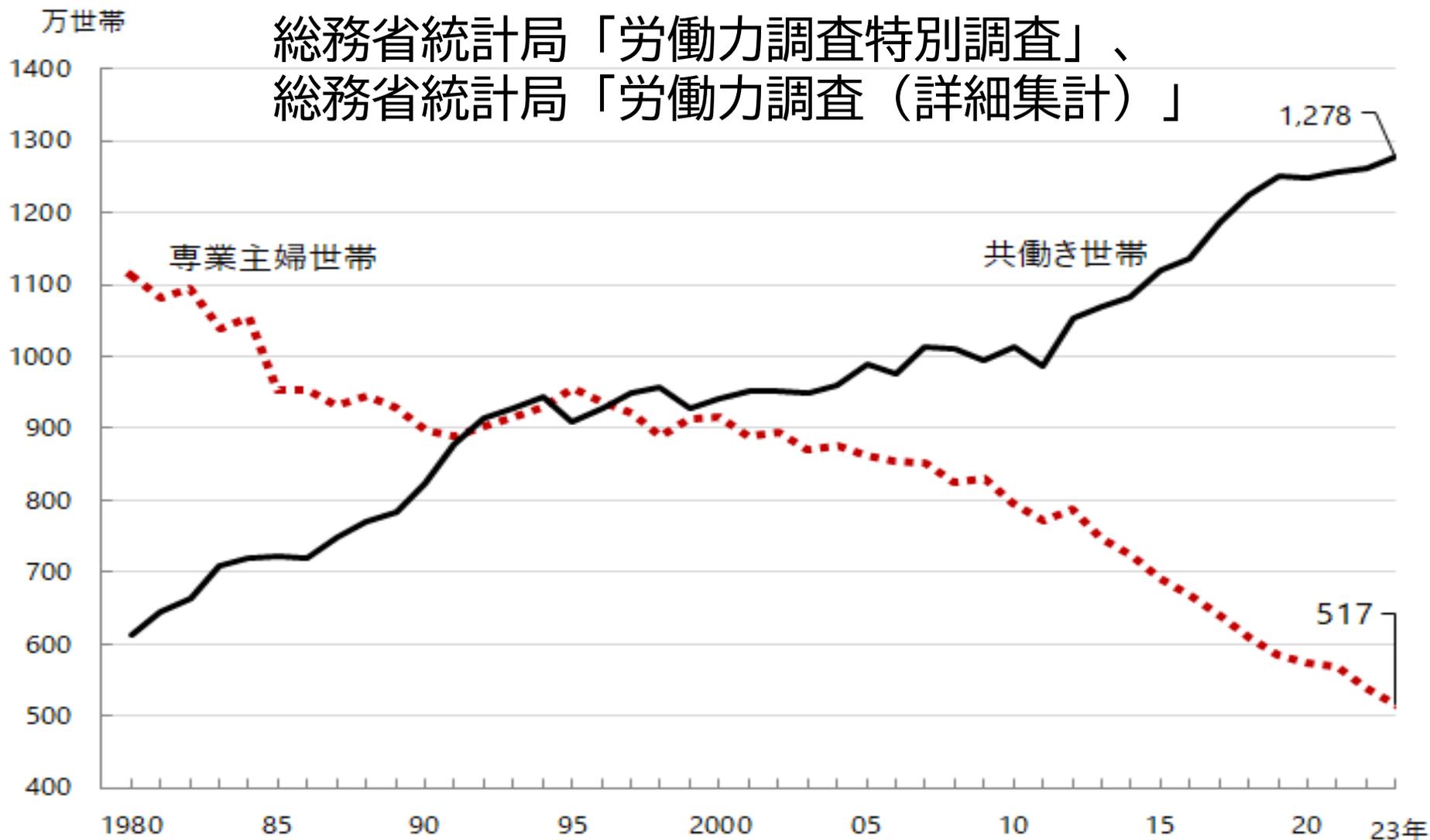
コミュニティ・スクールを推進した学校でのアンケート結果  
(小平一小 小平五小 小平六小 小平十四小)

<保護者が学校に一番望むこと (単一回答)>

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ①子どもの個性を伸ばし意欲を引き出すこと | 23% |
| ②一人一人の子どもをよく理解すること   | 22% |
| ③子どもの安全を守ること         | 13% |
| ④確かな学力が身につく授業をすること   | 12% |
| ⑤集団生活のルールを身につけさせること  | 11% |



## 4 子どもとの関わり 専業と共働き



1980年  
共働き：専業  
約 1：2

2000年頃  
約 1：1

2024年  
共働き：専業  
約 5：2

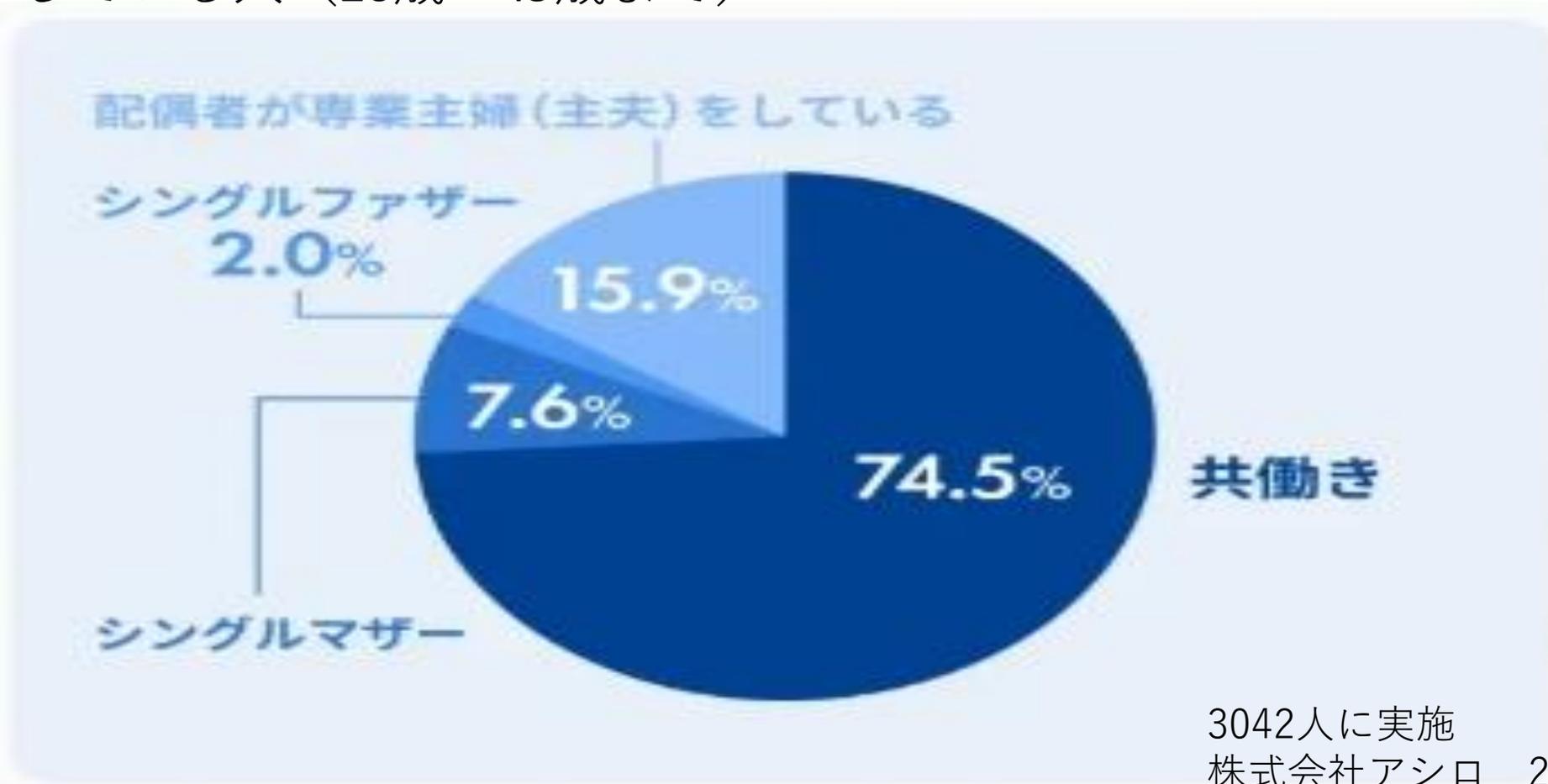


2024年度集計

## 4 子どもとの関わり 専業と共働き

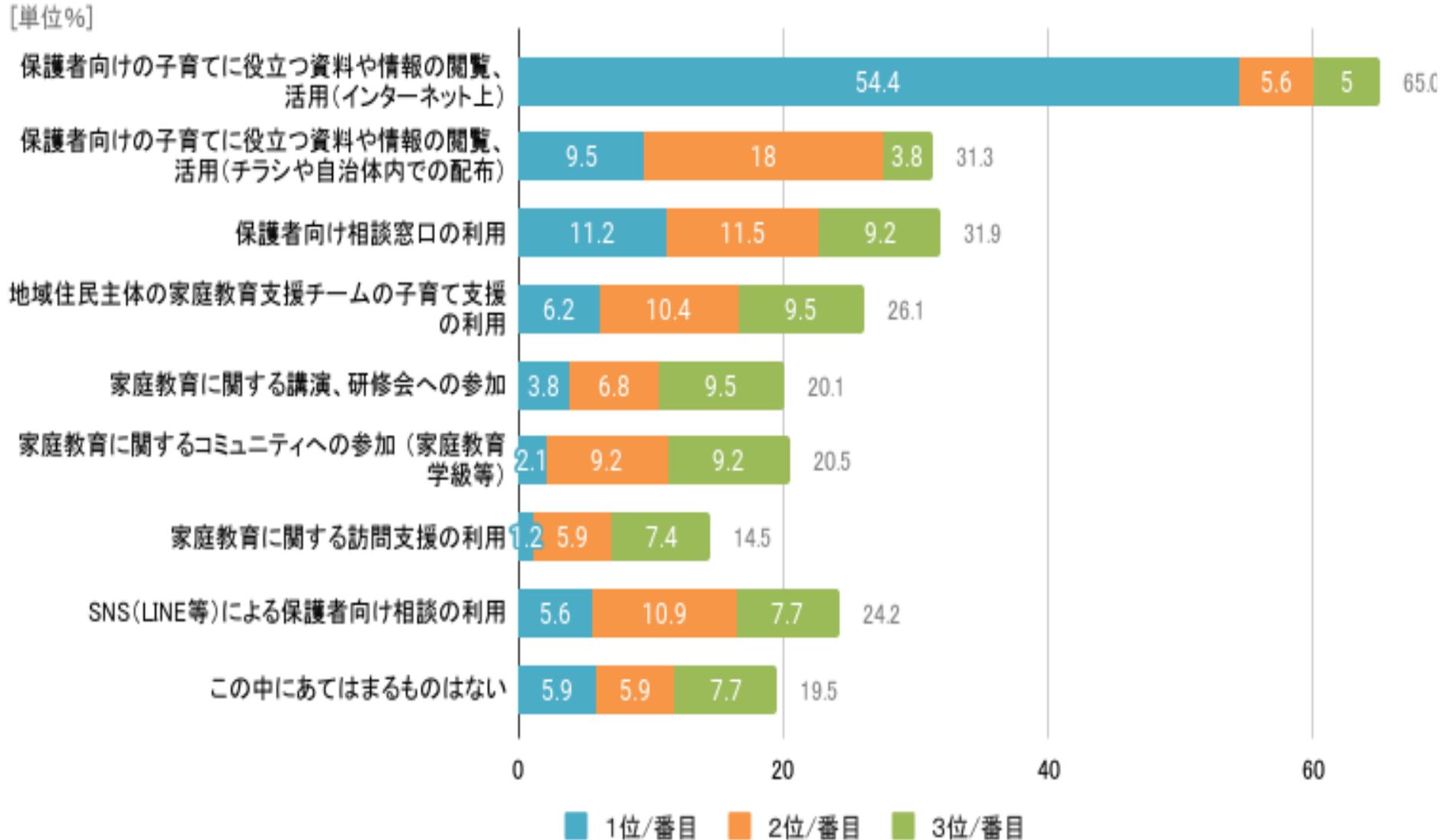
10歳未満の子どもを持ち、パート・アルバイト以外の仕事をしている人（20歳～49歳まで）

子育て世代の80%以上が、仕事に従事している。



# 5 子育てに関する情報収集

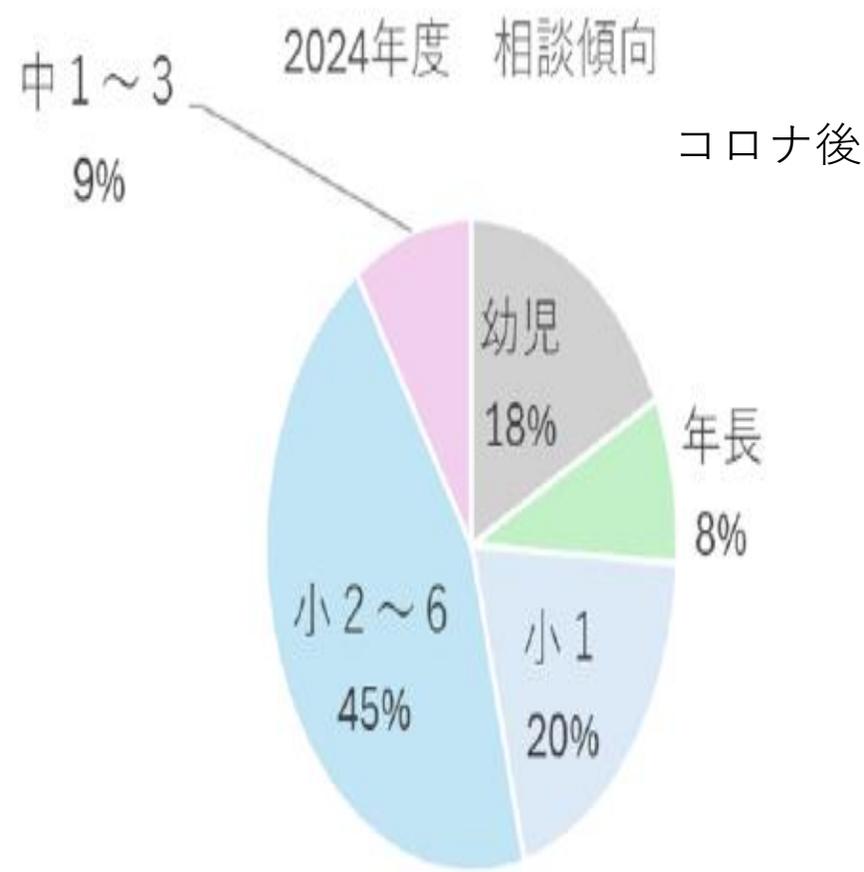
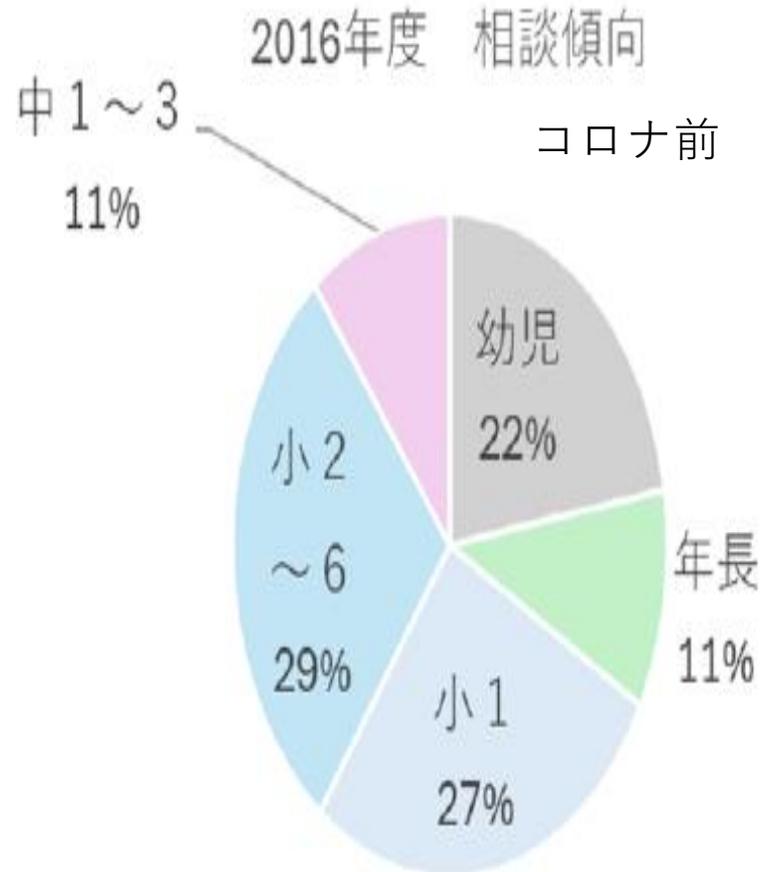
具体的にどのような「家庭教育」支援に関心がございますか。特に関心のある項目を最大3つまで選んで順位をつけてください。（複数回答）



2024年度実施  
サンプル数 338  
文部科学省調査



## 6 ポピー教育相談の現状



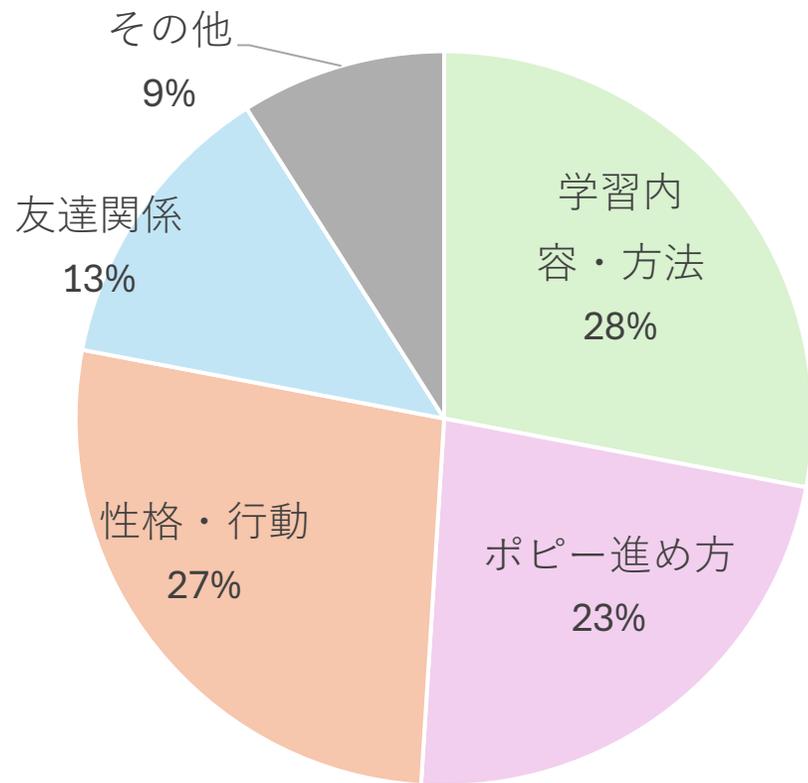
コロナ後の2024年度は、小2～小6の相談が増えている。

2024年度には、登園渋り不登校の相談が約10%あり。発達の相談は5%

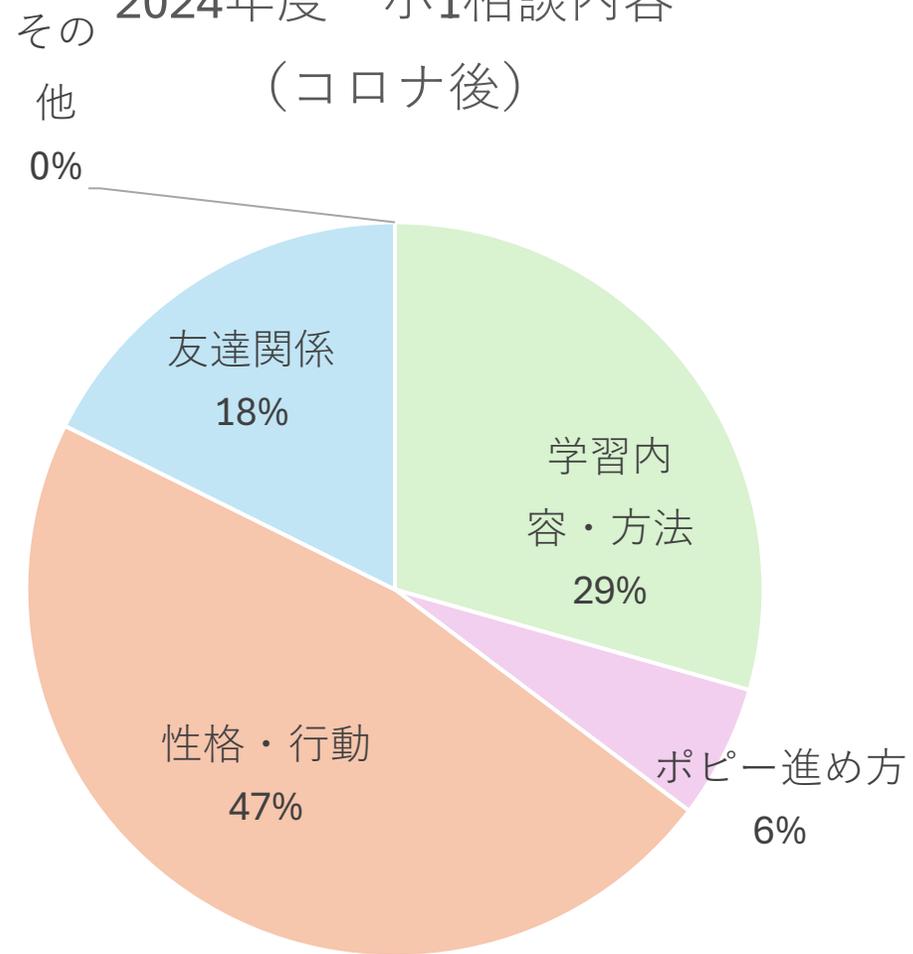


# 6 ポピー教育相談の現状

2016年度 小1相談内容  
(コロナ前)



2024年度 小1相談内容  
(コロナ後)



# 6 ポピー教育相談の現状

## 参考資料

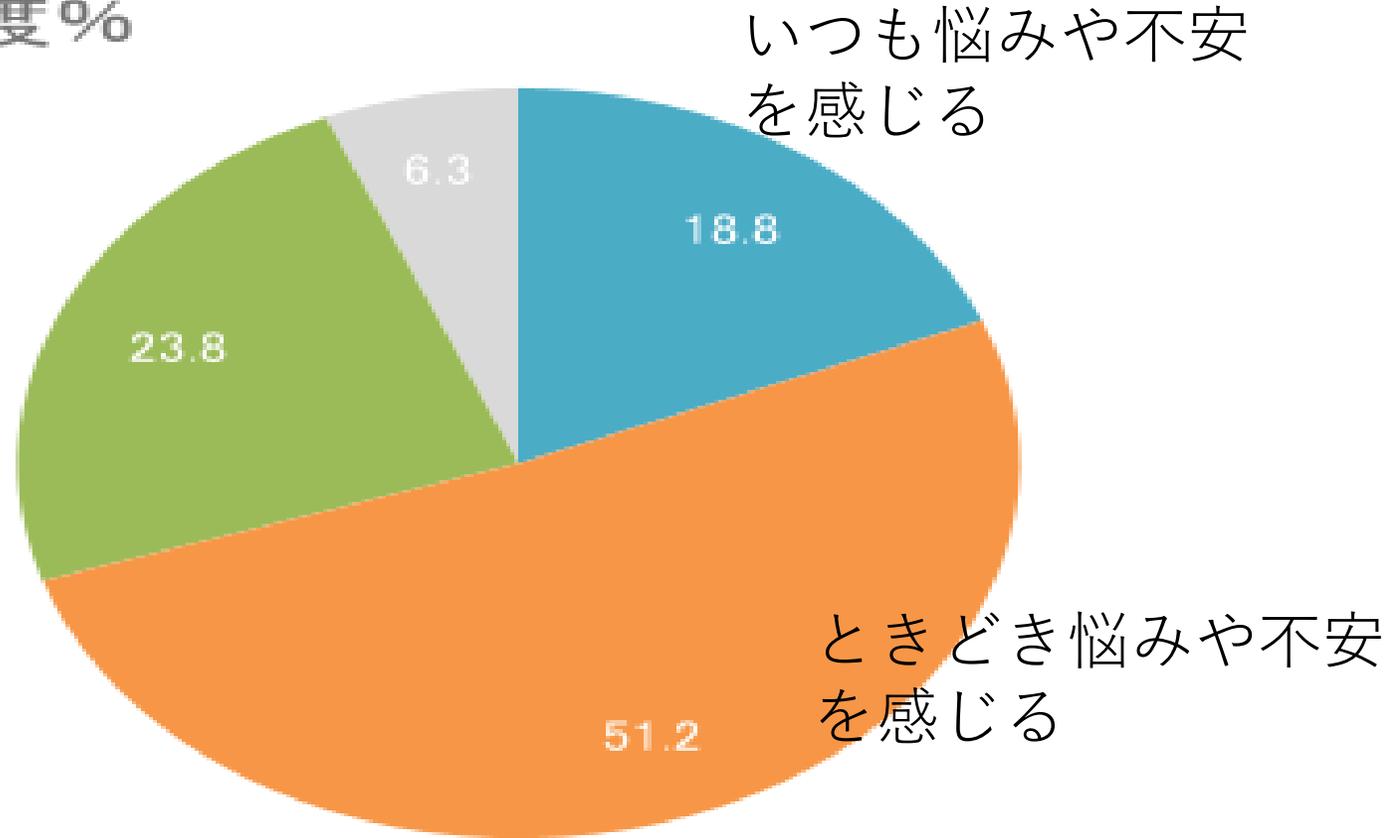
今年度%

あなたは現在子育てをしていて、悩みや不安をどの程度感じていますか。

(単一回答)

※スクリーニング調査において「現在子育て中で同居中の子供がいる」を選択した者を対象にしている(n=703)

2024年度 文部科学省調査



- いつも悩みや不安を感じる
- ときどき悩みや不安を感じる
- あまり悩みや不安を感じない
- まったく悩みや不安を感じない



## 7 これからの子育て支援

- (1) 家庭教育の認知・大切さを知ってもらう！
- (2) 家庭教育で大切にすべきことを伝えていく。
- (3) 時間のない中で、どう関わればよいかを知らせる。
- (4) 子育て情報の伝え方を工夫する。
- (5) 10分よりそいの親子時間！ おやこ読書を！
- (6) 子育ては、「ほめて みとめて だきしめて」



## 参考資料

・ 文部科学省 令和6年度  
「家庭教育支援推進のための調査研究(家庭教育についての保護者へのアンケート調査)」事業 報告書  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/katei/mext\\_00013.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/mext_00013.html)

・ 株式会社アシロ ベンナビ労働問題調査 令和6年7月  
<https://roudou-pro.com/columns/660/>

・ 全家研 教育対話部 「対話活動便り 53号」  
平成29年5月 (本部教育対話主事 村田 稔子)

